

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	配布 日時	平成２２年　３月１９日 １０時００分
資　　料　　配　　付		

件　名	「第３回和歌山県自転車通行環境懇談会」の開催について
-----	----------------------------

概　要	近年、自転車の事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故は、最近１０年間で約４．５倍に増加しています。そこで、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していくため、平成２０年１月１７日に今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区として、警察庁と国土交通省により、和歌山県内の２地区（和歌山市駅前・吹上砂山地区）が指定されました。 これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、和歌山県、和歌山市、和歌山県警察本部、和歌山河川国道事務所の関係機関で「和歌山県自転車通行環境懇談会」を設置しました。 このたび、下記のとおり第３回懇談会を開催致しますのでお知らせします。第３回懇談会においては、１月１８日～２０日、２５日～２７日に実施致しました対策実施試行案（社会実験）の実施状況とアンケート結果、その評価を踏まえてモデル地区の整備方針案を策定することとしています。 記 ○開催時間：平成２２年３月２３日（火）１０：００～１２：００ ○開催場所：和歌山県自治会館　３階　３０５号室
-----	--

取扱い	-----
-----	-------

配布場所	和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 副所長　　　　　木村　　一（内線　２０５） 道路管理第二課長　三浦　行雄（内線　４４１） TEL　０７３－４２４－２４７１（代表）
------	---

「第3回和歌山県自転車通行環境懇談会」の開催について

1. 概要

近年、自転車の事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故は、最近10年間で約4.5倍に増加しています。そこで、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していくため、平成20年1月17日に今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区として、警察庁と国土交通省により、和歌山県内の2地区（和歌山市駅前・吹上砂山地区）が指定されました。

これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、和歌山河川国道事務所、和歌山県警察本部、和歌山県、和歌山市は、「和歌山県自転車通行環境懇談会」を設置し、第1回懇談会を平成21年8月4日に、第2回懇談会を平成21年11月9日に開催しました。

このたび、第3回懇談会を下記のとおり開催することとなりましたのでお知らせします。

なお、第3回懇談会においては、1月18日～20日、25日～27日に実施致しました対策実施試行案（社会実験）の実施状況とアンケート結果、その評価を踏まえてモデル地区の整備方針案を策定することとしています。

記

2. 日時：平成22年3月23日(火) 10:00～12:00

3. 場所：和歌山県自治会館 3階 305号室

4. メンバー：別紙資料参照

5. 議題（予定）

- (1) 対策実施試行案（社会実験）の実施状況及び評価について
- (2) モデル地区の整備方針について
- (3) 自転車通行空間ネットワーク計画策定について
- (4) 今後のスケジュール

6. その他

プレスの傍聴は可能です。ただし、カメラ撮りは、冒頭から議事に入るまで可能です。（会場の都合上、傍聴席に限りがありますので、あらかじめご了承ください。）

1. 背景

○歩行者と自転車の交通事故が増加傾向にあります。

○和歌山市内の歩道では自転車と歩行者が混在し危険な状態になっています

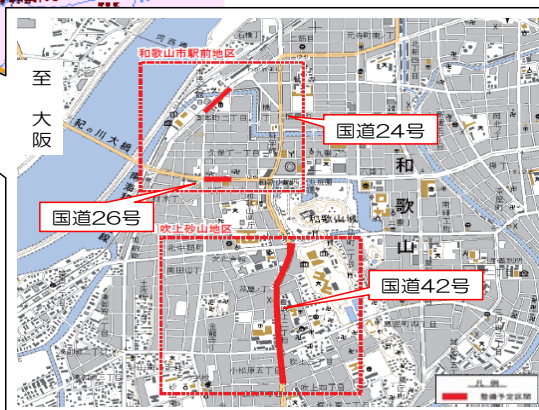


○和歌山市内の2地区（和歌山市駅前地区、吹上砂山地区）が今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区に指定されました。

位置図



至 大阪



○これらの地区において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、和歌山県、和歌山市、和歌山県警察本部、和歌山河川国道事務所は、「和歌山県自転車通行環境懇談会」を設置しました。

2. 自転車通行環境に関する社会実験の実施

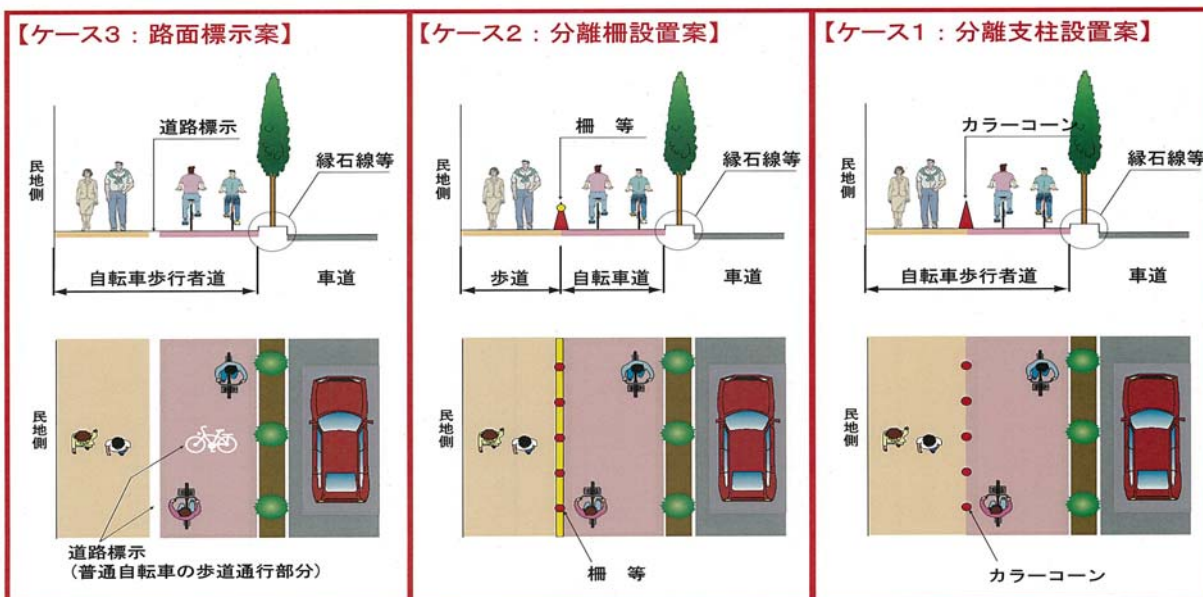
○自転車の安全で快適な利用促進を図り、既存の道路空間を有効に活用した自転車通行環境整備を目指すため、歩行者と自転車の分離を試みる社会実験を次のとおり実施しました。なお、その際、実験の効果や影響を検証するため「アンケート調査」を実施しました。

○実施日時：平成22年1月18日（月）
～20日（水）
午前7時～9時
実験箇所①：【国道26号】
（国道南側気象台から東側の歩道）
実験箇所②：【県道新和歌浦梅原線】
（和歌山市民会館前南側の歩道）

○実施日時：平成22年1月25日（月）
～27日（水）
午前7時～9時
実験箇所③ 【国道42号】
（国道東側NHK前の歩道）



- ・歩行者と自転車の分離構造は、以下の3タイプにより実験しました。なお、実験箇所②では、ケース1、3の実験となります。
- ・利用者の方々へ各ケースを利用した感想等についてアンケート調査を実施しました。



(参考)

「和歌山県自転車通行環境懇談会」

和歌山県自転車通行環境懇談会は、和歌山県内において「自転車通行環境整備モデル地区」として定めた２地区（和歌山市駅前地区、吹上砂山地区）において、自転車通行環境の整備方針を検討するため、平成２１年８月４日（第１回懇談会）に設置されました。

８月には、沿道自治会、近隣の中学・高校等にご協力いただき、自転車通行環境に関するアンケート調査を実施しました。

第２回懇談会（１１月９日）では、アンケート調査結果を踏まえ、ヒヤリハットマップ、自転車通行環境モデル地区における歩行者と自転車の分離試行案、自転車通行空間ネットワーク計画等の検討がなされました。

このたび、歩行者と自転車の分離を試みる社会実験を実施しました。

今回、社会実験の結果をとりまとめ、モデル地区の整備方針を策定します。

○委員名簿

委員	氏名	所属
座長	畠山 貴晃	和歌山市 副市長
委員	辻本 勝久	和歌山大学経済学部市場環境学科 准教授
委員	吉田 長裕	大阪市立大学大学院工学研究科 講師
委員	尾花 正啓	和歌山県県土整備部 道路局長
委員	中村 富佐夫	和歌山県警察本部交通部 参事官
委員	福岡 彰三	国土交通省近畿地方整備局道路部 道路情報管理官
委員	島村 喜一	国土交通省和歌山河川国道事務所 事務所長

○実施フロー

平成21年8月4日 第1回和歌山県自転車通行環境懇談会



○和歌山自転車通行環境懇談会の設立
○モデル地区の整備に向けた検討方針

平成21年8月 自転車通行環境に関するアンケート調査実施



○アンケート結果の分析・課題の整理
○ヒヤリハットマップの作成



平成21年11月9日 第2回和歌山県自転車通行環境懇談会



○対策実施試行案の検討
○自転車通行空間ネットワーク計画の検討

平成22年1月 自転車ヒヤリハットマップの公表
自転車通行環境に関する社会実験の実施



平成22年1月 社会実験に関するアンケート調査実施



平成22年3月23日 第3回和歌山県自転車通行環境懇談会



○対策実施試行案の評価
○モデル地区の整備方針策定

モデル地区の整備実施